

会 議 録		令和 4 年 6 月 27 日 作成	令和 8 年 3 月 末 日 廃 棄
会議名	京都府亀岡警察署協議会（令和 4 年度第 1 回）		
開催日	令和 4 年 6 月 17 日（金曜日）		
時 間	午前10時から午前11時30分までの間（90分）		
場 所	京都府亀岡警察署 道場		
出席者	岸会長、湯浅副会長、大橋委員、木曾委員、前田委員、矢田委員 （欠席 芦田委員、國府委員、高澤委員、森川委員、長尾委員）計 6 人 ----- 署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長 交通課長、警備課長、広聴相談係長 計10人		
諮 問 事 項	1 犯罪の発生状況、犯罪抑止に向けた取組について 2 交通事故の発生状況と子どもの安全対策について		
会 議 内 容	1 会長挨拶 司会 広聴係長 2 署長挨拶 3 協議 司会 会長 (1) 諮問事項説明 犯罪の発生状況、犯罪抑止に向けた取組について～生活安全課長 【委員】先日、小学校に不審者が侵入する事件があったが、その際の連絡ルートがどうなっているのか知りたい。発生の連絡はあったが、結果はどうだったのか、いつまで警戒すれば良いのか分からず心配であった。この点について説明願いたい。 【警察】先日、市内の小学校で不審者の目撃情報が入ったため、幼稚園から高校まで情報を伝えた。今回に関しては不審者が侵入したとの情報が入ったが、目撃情報のみであり、事実が捉えられず警戒解除とすることが難しかった。 当署としては、不審者情報のあった学校はもとより管内全域の警戒を行った。当然ながら不審者を捕捉できた場合、同じ連絡ルートで伝えるが、今回の案件は数日間警戒を継続した。今後は情勢を見極め伝えたいと考えている。 【警察】今回の不審者情報については、当署として大きく捉え対処し、数日		

会 議  
内 容

間にわたり、聞き込み、同時間帯の検問、ドライブレコーダー等の捜査を行うとともに予防としてパトロールを継続実施した。今回は見守り隊の方の目撃情報のみで、それ以外に不審者に関する情報がなく、見極めが困難であった。

不審者の目撃情報があった学校の玄関には、防犯カメラの設置がなく、警察としては防犯カメラがあれば事実確認が行え、迅速に動けたと思う。防犯カメラは予防ツールとして有効であり、設置するのが望ましいが、予算の問題もあるため行政や各地区の自治会の協力が必要である。

【委員】各自治会としては、防犯面で、警察と防犯推進委員が連携して青色防犯パトロールを実施し、午後9時から10時までコンビニエンスストア3店を回っている。コロナ禍のため徒歩巡回であったが、7月から青色防犯パトロールで巡回したいと思っている。少しでも地域の安全のために役に立てればと思い、先ほどからの防犯対策を聞き、地域の一員としても出来ることはしなければと思った。

【委員】自転車盗に関しての質問だが、先月から無人の家の敷地内に自転車が置かれている。管理している方の物なのか分からず、警察に連絡してよいのか判断に迷っている。

【警察】自転車が盗難品であるのか確認するため、警察に連絡していただいたら良い。

(2) 諮問事項説明

交通事故の発生状況と子どもの安全対策について～交通課長

【委員】先ほど、トリックアートの説明があったが、今後、亀岡でトリックアートの横断歩道が展開されるのか。また、どのような条件で設置してもらえるのか教えていただきたい。

【警察】現状、どれだけ増えるか目処は立っていない。条件としては子どもが多く利用することが必須であるが、一番は地域の声だと思っている。具体的に設置場所の要望があれば関係機関とその都度検討を行う。

【委員】以前から、千代川地区に横断歩道の設置を要望していた。私も地元からの声、要望が一番大事と感じている。道路管理者側の予算の都合や、その設置要望の道路が京都府なのか亀岡市なのかにより要望先も変わる。言えることは地域の盛り上がりが必要で、校長、PTA等とも地域と一体とならなければ厳しいと感じている。

【委員】千代川地区での交通社会実験や啓発活動をしてもらい感謝している。トリックアートなど一連の施策について国土交通省にも報告していただき、今後広がれば良いと思っている。

千代川地区も団地が増え、小学校の生徒数も約500人となり、国道

を約 150人が渡る状態となっている。地区では子どもをリスクから遠ざけることを考え、住宅街の中に新たな横断歩道を設置していただきたいと要望をしているところ、生活道路でなかなか無理な状況もある。

危険があり、通学路のコースを替えたが、そこに必要だから要望をしている。簡単ではないと思うがお願いしたい。

【警察】危険箇所あれば確認検討させていただく。

【委員】10年前の管内の小学校の悲惨な交通事故については、当時PTA会長をしていたことや通勤に利用していたので思い出される。地元住民と警察のおかげで道路環境も非常に良好となり、交通意識が高まっていると感じている。

その中での話で、篠町の道路は朝、一方通行にもかかわらず特にバイクの逆行が見られる。取締りはしていただいているが、周知徹底のためにも、交通安全週間や夏休み前に取締りをしていただきたい。

【警察】取締りのほか、引き続き啓発活動も合わせ継続して実施する。

【委員】自転車のマナーの悪さが見られる。速度超過が多く、何か抑止出来ないかと感じている。

【警察】自転車の交通安全に関する安全教室を実施し、駅周辺の道路では指導警告を行っている。今後も引き続き啓発を実施していく。

【委員】道路に緑色のラインが引かれているのは自転車専用道路でよいのか。

【警察】市役所周辺やサイクルロードに描かれている。

【警察】実際、国道9号線の老ノ坂峠を自転車で通行したところ、歩道や自転車専用道路がなく、非常に危ない思いをした。京都市内と違ってバリアフリーにもなっておらず、高齢者が歩行するにも危険な道路である。国土交通省の担当者と話す機会があったが、国道9号線の現状については承知していた。予算の関係もあるが早々に対応しなければと互い（警察及び国土交通省）に痛感した。

#### 4 事務連絡

令和4年度第2回亀岡警察署協議会は、令和4年9月中旬に実施予定である。

以上

会議  
内容

## 第1回京都府亀岡警察署協議会の開催状況

